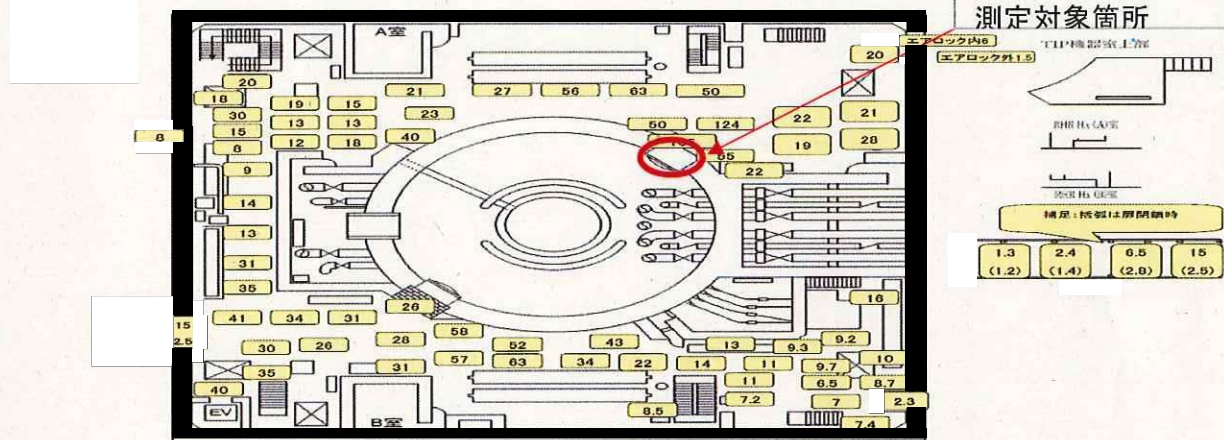


承認	審査	作成
H27.12.4	H27.12.4	H27.12.4

放射線サーベイ記録

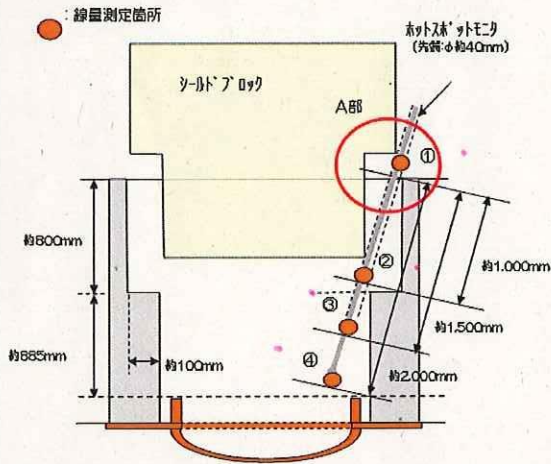
測定目的	3号機PCV機器ハッチ室 線量測定, キャタピラαスミア採取	測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input checked="" type="checkbox"/> α <input type="checkbox"/> 核種分析
測定場所	3号機PCV機器ハッチ室 3号機サービス建屋1階 (重汚染チェンジングプレース)	測定者	
測定日時	2015/11/27 10:40 ~ 11:10	測定器 (換算定数)	F1-HS-043 ※1 β : α β 汚染サーバイメータ (F1- α β SM-005) ※2 α : α シンチレーション検出器 (F1- α -005)

①～④：線量測定 1：スミア採取



単位: mSv/h

3号機 原子炉建屋 1階



単位: mSv/h

線量測定	床上1m	床面
①隙間入口部	12	24
②隙間入口部より1,000mm奥	160	260
③隙間入口部より1,500mm奥	200	500
④隙間入口部より2,000mm奥	270	1220



調査ロボット

キャタピラ部分の
スミア採取1

採取箇所	測定値 Net (cpm)	測定値 Net (cpm)	β/α 比
	β ※1	α ※2	
1	>72,000	10	100倍以上

BG β : 28,000 cpm
 α : 0 cpm

考察：以下のことから、現状の放射線管理で問題ないと評価する。

- ・当該エリアは、既に重汚染エリアとして内部取り込み防止措置・汚染拡大防止対策が講じられていること。
- ・ β/α 比が十分に大きいため、現行の β 核種をターゲットとした身体等の汚染検査により、汚染の有無の確認が可能であること。